



ごあいさつ

今、わが国は大きな歴史の転換期を迎えています。

多発する大規模災害、長期化する経済危機、深刻化する環境やエネルギー問題など、これまでのやり方が通用しない大きな課題が次々と顕在化しています。遅々として進まない地域主権改革ではありますが、国と地方のあり方もこれから混沌と再生の大きなうねりに巻き込まれていくことでしょう。

この時代に総社市が目指していくのは、「自立する総社市」です。国や県に頼ることなく、総社市が総社市として輝き続けていくためには、高い政策形成能力と強い突破力を持って、市民の幸福を第一に考え市民の求めに応じて素早くそして心優しく応えていける基礎自治体になっていかななくてはなりません。総社市はこの高い頂を目指し、挑戦し続けていきます。

そのような気持ちを込め、平成23年度から平成27年度の5年間の計画となる「第1次総社市総合計画後期基本計画」を策定しました。この「後期基本計画」は、抽象的、画一的、形式的なものといわれている従来の基本計画を一新し、より具体的な総社モデルといえる施策を掲げ、攻めの気持ちで、一步踏み込んだものとしています。さらに、これらの施策を、横断的、有機的に連携させた4つの重点プロジェクトを設定しています。「ささえる」「うるおう」「はぐくむ」「つちかう」これら重点プロジェクトの根底に流れているのは「絆」。全国的に人と人との関係の希薄化や地域コミュニティの機能不全が社会問題となっている今、「未来へつなぐ 人の絆 地域の絆」を合言葉に、「絆」の再生を目指して、市民や地域、学校や企業、各種団体と協働しながら、「私たちが考え、私たちが実行していくまち～自立できる総社市～」を創りあげます。

本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提案をいただきました市民の皆様、熱心にご審議いただきました総合計画審議会委員各位、また、格段のご指導、ご助言をいただきました岡山県並びに市議会議員各位に、深く感謝申し上げます。

この計画の実現に向け、今後一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ごあいさつといたします。

平成23年3月

総社市長 片岡 聡一